

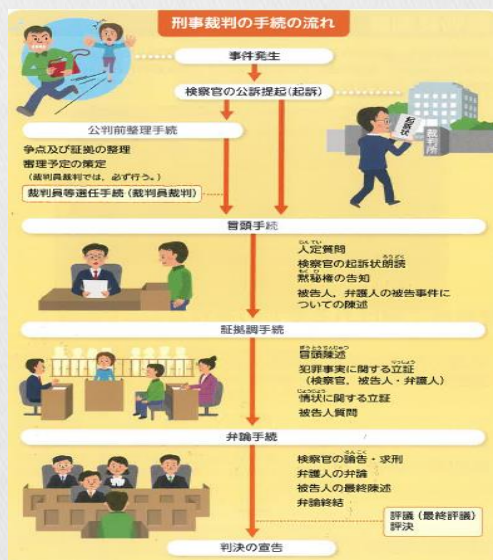
令和3年度 小・中学生向け夏休みオンライン行事 「裁判官にズームしよう！」

結果
報告

令和3年8月17日(火)～20日(金)に、小学4～6年生及び中学生を対象とした夏休み行事「裁判官にズームしよう！」を実施しました。
小学生、中学生それぞれのグループに分かれて、合計6回行いました。
コロナ禍における試みとして、Zoomを用いて裁判所と参加者のご自宅を接続して実施しました。

第1部：裁判官から、裁判所や裁判のしくみについて説明

第1部では、
裁判官が、民事裁判や刑事裁判の手続の流れや裁判員制度について説明しました。
参加者からは「裁判官の説明が分かりやすかった。」との感想を多くいただきました。



第2部：質疑応答



第2部では、
参加者から次々と手が挙がり、
たくさん質問をしていただきました。



【小学生の皆さんからの質問】

- ・どうして裁判官になったんですか。
- ・裁判官を色で例えると何色ですか。
- ・裁判をするときが一番大切にしていることは何ですか。
- ・法廷では緊張しますか。
- ・ドラマのような職権による捜査をやったことはありますか。



【中学生の皆さんからの質問】

- ・社会や公民は子供の頃から好きな科目でしたか。
- ・裁判官をやっていて良かったと思うのはどんなときですか。
- ・裁判官同士で意見が割れたときはどうするんですか。
- ・大阪地方裁判所の裁判員はどの地域から選ばれますか。
- ・裁判傍聴には中学生も来ていますか。

参加者・保護者の感想



【参加者】

- ・今回のイベントで、更に裁判に興味を持ちました。
- ・直接裁判官と話すことができ、普段のイベントよりも身近に感じられました。
- ・裁判所に関してあまり知識がありませんでしたが、分かりやすく興味を持ちました。
- ・裁判所や裁判のしくみがよく分かりました。お話を聞いて、実際に裁判所へ行って、見学したくなりました。

【保護者】

- ・分かりやすく説明していただき、裁判所を知るいい機会になりました。裁判官と話す機会などないため、実際にお話が聞けて、新しいことが色々学びました。
- ・少人数の募集だったため、不安もあったようですが、参加後は、「質問するのが緊張した。」と言いながらも良い顔をしていました。
- ・「裁判官は経験年数にかかわらず、自由に意見が言える。」と裁判官が言っていたことに、とても魅力的な組織だなと感じました。

今回のイベントを通じて、裁判所や裁判官を身近に感じてもらうことができたようで嬉しく思います。ご応募・ご参加いただいた皆さん、ありがとうございました。